

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・先進国バランス・ファンド（為替ヘッジあり）“愛称 森のしずく”」は、去る1月12日に第9期の決算を行いました。本ファンドは日本を含む世界の中期公社債および先進国の株式に幅広く分散投資を行うことで、安定的な収益の獲得と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行っております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第9期末（2021年1月12日）

基準価額	10,568円
------	---------

純資産総額	182百万円
-------	--------

第9期

（2020年7月11日～2021年1月12日）

騰落率	5.3%
-----	------

分配金合計	20円
-------	-----

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○本ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。また、運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報・基準価額一覧」を選択⇒「ファンド一覧」より該当のファンドを選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）一覧」を選択



交付運用報告書

あおぞら・先進国バランス・ファンド
（為替ヘッジあり）

愛称 **森のしずく**

追加型投信／内外／資産複合

第9期

決算日
第9期 2021年1月12日

作成対象期間（2020年7月11日～2021年1月12日）

あおぞら投信株式会社

東京都千代田区麹町6-1-1

■ホームページアドレス（基準価額をご確認いただけます。）

<http://www.aozora-im.co.jp/>

■お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

03-6752-1051

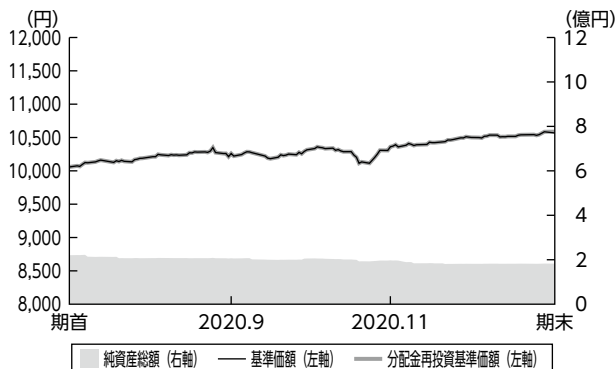
受付時間：
営業日の午前9時から
午後5時まで



*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過（2020年7月11日～2021年1月12日）

基準価額の推移



第9期首：10,058円
 第9期末：10,568円（既払分配金20円）
 騰落率：5.3%（分配金再投資ベース）

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

*分配金再投資基準価額は、期首（2020年7月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

*上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、当期末において10,568円となり、当期のリターンは5.3%（信託報酬控除後、分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期は、新型コロナウイルス感染再拡大への警戒が強まる中、米中対立の激化や米大統領選挙への警戒から、先進国株式市場が下落する局面もありましたが、新型コロナウイルスワクチンの接種が開始され早期のワクチン普及や経済活動の正常化への期待を背景に、先進国株式市場が大幅に上昇したことに加え、ハイ・イールド債券利回りが低下したことが、基準価額の上昇要因となりました。

1 万口当たりの費用明細 (2020年7月11日～2021年1月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	48	0.462	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は10,294円です。
(投信会社)	(23)	(0.224)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(23)	(0.224)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.017	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(2)	(0.017)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 各期中の有価証券取引税 ÷ 各期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	19	0.185	(d) その他費用 = $\frac{\text{【期中のその他費用】}}{\text{【期中の平均受益権口数】}}$
(保管費用)	(8)	(0.082)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(11)	(0.103)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	69	0.664	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.56%です。

経費率 (①+②)	1.56%
①このファンドの費用の比率	1.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

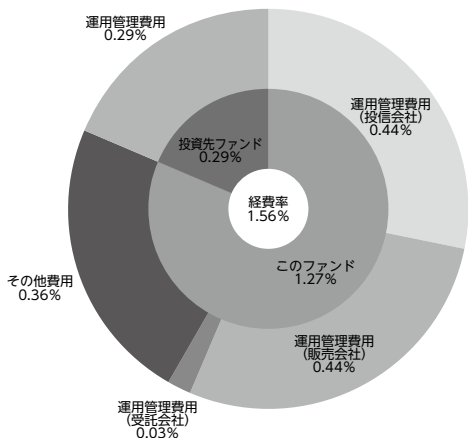
(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

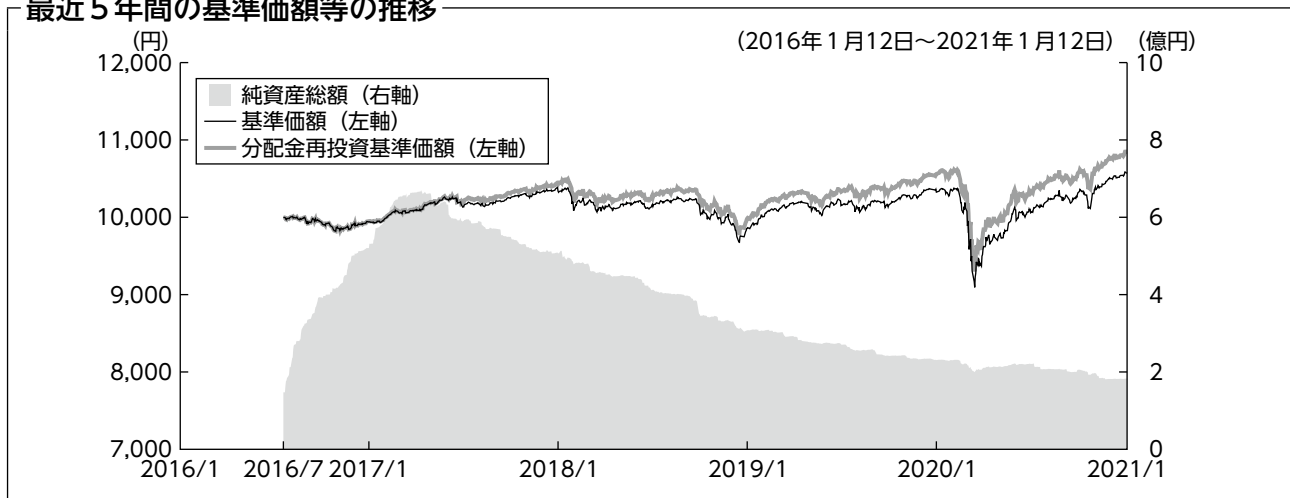
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 本ファンドの設定日は2016年7月29日です。

決算日		2016年7月29日 (設定日)	2017年1月10日 (決算日)	2018年1月10日 (決算日)	2019年1月10日 (決算日)	2020年1月10日 (決算日)	2021年1月12日 (決算日)
基準価額	(円)	10,000	9,940	10,337	9,858	10,325	10,568
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	10	100	20	100	40
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	△0.5	5.0	△4.4	5.8	2.8
純資産総額	(百万円)	147	520	506	307	230	182

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注2) 2017年1月10日の「分配金再投資基準価額騰落率」は、2016年7月29日（設定日）からの騰落率で、年間騰落率とは異なります。

(注3) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の中短期公社債および先進国の株式に幅広く分散投資を行います。資産配分については、目標とする収益率（リターン）と、想定される価格変動性（リスク）水準に基づいて定期的に見直すことを基本方針としています。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

投資環境

当期の先進国中短期投資適格債券利回りはまちまちでした。米国では、米中対立激化や米国内での新型コロナウイルス感染再拡大への警戒が利回り低下要因となりましたが、回復基調を示す米経済指標のほか、FRB（米連邦準備制度理事会）が2%を上回るインフレ率を容認する新方針を発表したことや、民主党が上院でも過半数を獲得したことを受けて大規模な経済対策に伴う国債増発が意識され、米国債券利回りは上昇しました。一方、欧州では、欧州での新型コロナ感染再拡大と行動規制再強化への動きが広がる中、軟調なユーロ圏経済指標やECB（欧州中央銀行）による追加量的緩和を受けて利回りが低下しました。ただ、新型コロナウイルスワクチンの早期普及期待に加えて、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱が回避されたことで、利回り低下幅は限定的でした。

米国短期ハイ・イールド債券利回りは低下（価格は上昇）しました。米中対立の激化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない欧米で行動規制再強化の動きが広がったことがスプレッド拡大要因となりました。しかし、景気回復を示す米経済指標のほか、欧米でワクチン接種が開始され、早期のワクチン普及と経済活動正常化への期待が高まったことや、米追加経済対策法案が成立したことがスプレッド縮小要因となり、利回りが低下しました。

先進国株式市場は大幅に上昇しました。当初は、新型コロナの感染再拡大や米中対立の激化が警戒されたものの、堅調な米経済指標や米企業業績に加え、積極的な金融・財政政策が追い風となり、上昇しました。その後、過熱感／割高感を背景に米ハイテク株が大幅調整したほか、米大統領選挙への不透明感や、欧米での新型コロナ感染再拡大と行動規制を再強化する動きを背景に、調整する局面もありましたが、米大統領選挙でバイデン候補が当選したことを受けて、米追加経済対策への期待が高まったことや、早期の新型コロナウイルスワクチン普及と経済活動正常化への期待に加え、英国の合意なきEU離脱という最悪の事態が回避されたことも好感され、先進国株式市場は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドでは当初の運用方針通り、4つの組入れファンドへの投資を通じて、日本を含む世界の債券および株式に投資を行い、安定的な収益の獲得と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

先進国中短期投資適格債券：

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド（円建て）

米国短期ハイ・イールド債券：

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり）（円建て）

先進国好配当株式：

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）、ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）

2020年6月末の資産別データに基づく確認を行った結果、年率3.0%の中長期的な期待リターン水準に基づいて、先進国中短期投資適格債券50%：米国短期ハイ・イールド債券25%：先進国好配当株式25%を概ねの目処とするポートフォリオを維持しています。

組入れファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド（円建て）>

主として国債、政府機関・国際機関債や投資適格の社債などの先進国の固定金利／変動金利中短期公社債（残存年限5年以内）に為替をヘッジした上で投資し、投資元本の保全を目指しながら、金利収入獲得の最大化を目指しました。2020年12月末時点で、先進16カ国の333銘柄に分散投資しています。

<アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり）（円建て）>

主に米国市場で取引されている、米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券（償還期限概ね5年以下）等に為替をヘッジした上で投資し、インカム・ゲインの獲得と信託財産の成長を目指しました。2020年12月末時点で、43業種111銘柄に分散投資しています。

<ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）>

主に米国の金融取引所で上場されている、成長性があり配当の支払いがある米国の大型株式のリターンを投資家に提供することを目指しました。2020年12月末時点で、G I C S 11業種分類中11業種、300銘柄に分散投資しています。なお、為替は対円でヘッジされています。

<ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド（米ドル建て）>

主に成長性があり配当の支払いがある、北米を除く世界の先進国の大型株式のリターンを、投資国通貨を米ドルにヘッジした上で投資家に提供することを目指しました。2020年12月末時点で、G I C S 11業種分類中11業種、先進20カ国の246銘柄に分散投資しています。なお、為替は対円でヘッジされています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、当期においては20円の収益分配を行いました。留保金の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり、税引前）

	第9期	
	自 2020年7月11日	至 2021年1月12日
当期分配金	20	
（対基準価額比率）	0.189	
当期の収益	20	
当期の収益以外	－	
翌期繰越分配対象額	606	

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

本ファンドの基本資産配分は、資産クラス毎の期待リターンおよび推計リスクを基に行い、資産配分は市場環境等により定期的に見直しを行います。その際は、①中長期的に期待リターンが達成できると見込まれる水準で、かつ、②債券部分の平均信用格付が投資適格となるように行います。

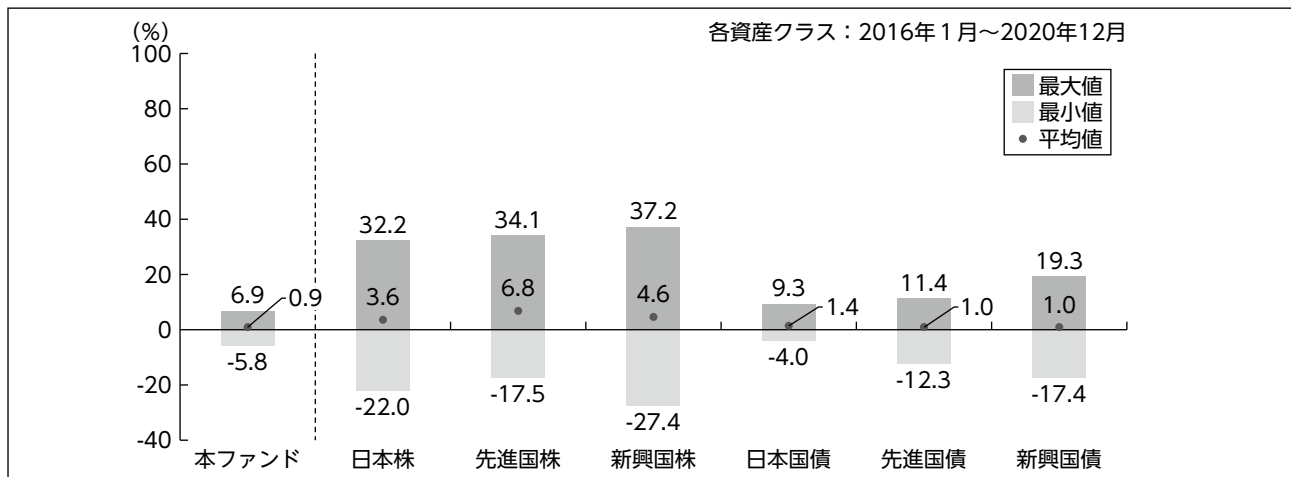
お知らせ

該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	原則として無期限
運用方針	主として、日本を含む世界の債券および株式に投資を行い、安定的な収益の獲得と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイルランド籍外国証券投資法人（円建て） ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド ・ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て） アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり） ・米国籍上場投資信託証券（米ドル建て） ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド
運用方法	<ol style="list-style-type: none"> ①主として、日本を含む世界の債券および株式を主要投資対象とする別に定める投資信託証券に投資を行います。 ②債券部分の投資にあたっては、実質的な償還までの期間が5年以下の先進国の債券に広く分散投資を行います。また、ポートフォリオの平均デュレーションは3年以下となるようコントロールを行い、債券の平均信用格付は原則として投資適格（BBB-格）以上を維持することを目指します。 ③株式部分の投資にあたっては、先進国の相対的に配当利回りが高い銘柄に投資を行います。 ④投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行います。
分配方針	<p>分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は分配を行わない場合があります。</p>

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2016年1月～2020年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、本ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの設定日が2016年7月29日のため、本ファンドについては2017年7月～2020年12月の各月末の直近1年間の騰落率を表示しています。

※上記は、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

※本ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCI-KOKUSA I ンデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

※東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、東京証券取引所第一部上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

※MSCI-KOKUSA I ンデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が発表している国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す指数です。なお、NOMURA-BPI に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

※FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当該投資信託のデータ

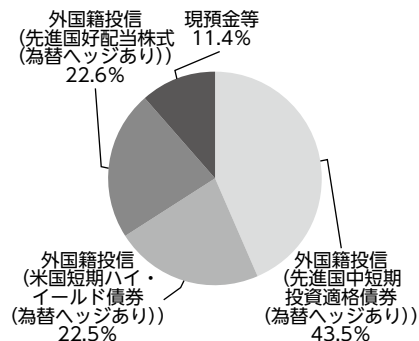
当該投資信託の組入資産の内容 (2021年1月12日現在)

○組入ファンド (4 銘柄)

	組入比率
ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド	43.5%
アリアンツ・グローバル・インバスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド (為替ヘッジあり)	22.5%
ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド	13.4%
ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド	9.3%
その他	11.4%

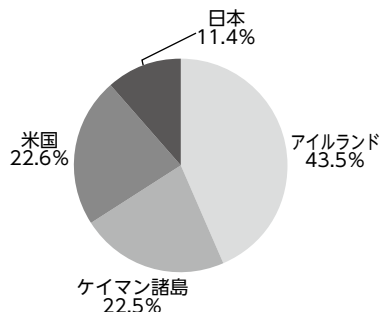
※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

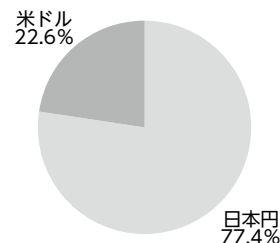


※比率は純資産総額に対する割合です。

○国別配分



○通貨別配分



○純資産等

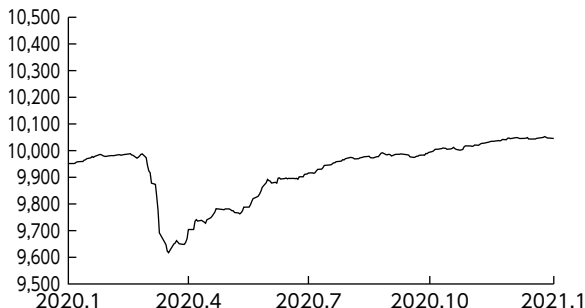
項目	当期末
	2021年1月12日
純資産総額	182,431,522円
受益権総口数	172,628,735口
1万口当たり基準価額	10,568円

※当期中における追加設定元本額は4,608,142円、同解約元本額は51,080,725円です。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド

基準価額の推移（2020年1月11日～2021年1月12日）



(注) 当該ファンドの当初組入れ時（2016年8月1日）を10,000として指数化しております。

○上位10銘柄

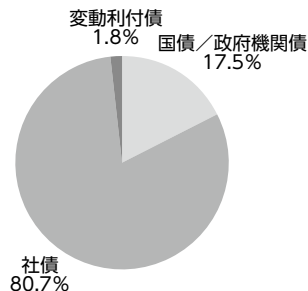
銘柄名	種別	発行通貨	利率	償還日	比率
1 デクシア・クレディ・ローカル	社債	GBP	0.875%	2021/9/7	1.3%
2 オランダ水道整備金融公庫	政府機関債	EUR	float	2021/12/15	2.0%
3 アジア開発銀行	国際機関債	GBP	float	2023/10/12	1.2%
4 マイラン	社債	EUR	2.250%	2024/11/22	0.9%
5 UBSグループ	社債	EUR	1.750%	2022/11/16	0.8%
6 DH ヨーロッパ ファイナンス	社債	EUR	1.700%	2022/1/4	0.8%
7 オラクル	社債	EUR	2.250%	2021/1/10	0.8%
8 PPGインダストリーズ	社債	EUR	0.875%	2022/3/13	0.8%
9 フランス開発庁	政府機関債	USD	float	2021/6/7	0.8%
10 USバンコープ	社債	EUR	0.850%	2024/6/7	0.8%
組入銘柄数				322銘柄	

(注) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

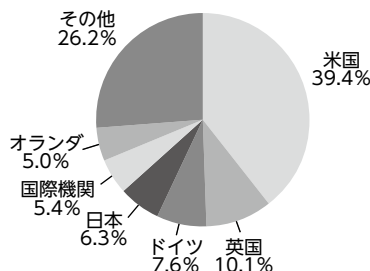
○1万口当たりの費用明細

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンドのSemi-Annual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

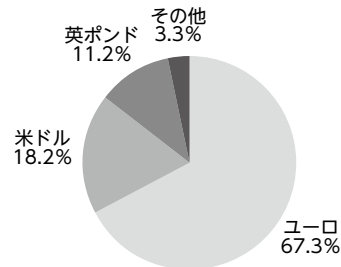
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年5月31日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンドのSemi-Annual Reportを基に委託会社を作成したものです。

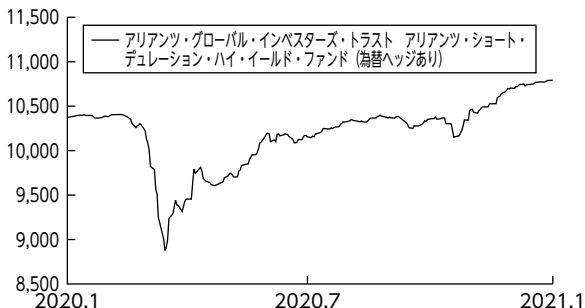
(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目については2ページの注記をご参照ください。

(注3) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、保有有価証券の時価総額に対する割合です。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり）

基準価額の推移（2020年1月11日～2021年1月12日）



（注）当該ファンドの当初組入れ時（2016年8月1日）を10,000として指数化しております。

○上位10銘柄

銘柄名	国	種別	利率	償還日	比率
1 PETSMAINT INC	米国	L	-	2022/3/11	3.8%
2 ASURION LLC TL B6	米国	L	-	2023/11/3	3.2%
3 リアロジー・グループ/ リアロジー・コイシュアー	米国	B	5.25%	2021/12/1	2.6%
4 CVR ENERGY INC	米国	B	5.25%	2025/2/15	2.6%
5 T-Mobile USA Inc	米国	B	6.50%	2024/1/15	2.6%
6 ボッシュ・ヘルス・カンパニーズ	米国	B	7.00%	2024/3/15	2.6%
7 ASURION LLC TL B2	米国	L	-	2025/8/4	2.6%
8 CONNECT FINCO SARL/CONN	英国	B	6.75%	2026/10/1	2.4%
9 デル・インターナショナル/EMC	米国	B	7.13%	2024/6/15	2.3%
10 ペンスキー・オートモーティブ・グループ	米国	B	5.75%	2022/10/1	2.3%
組入銘柄数				93銘柄	

（注1）銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

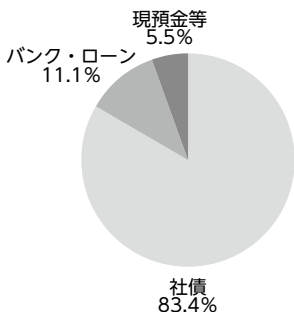
（注2）種別は、「B」はハイ・イールド債券を、「L」はバンク・ローンを表します。

（注3）バンク・ローンの利率は変動する場合がありますため、「-」と表示しています。

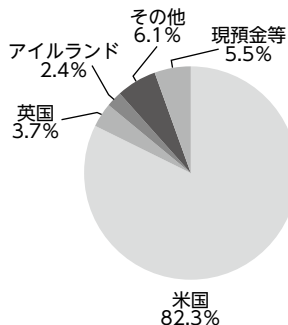
○1万口当たりの費用明細

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンドのAnnual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、1万口当たりの費用の明細を開示できません。

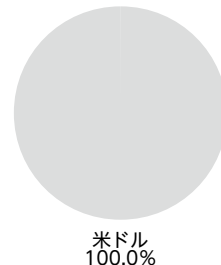
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年3月31日現在のものです。本データは、アリアンツ・グローバル・インベスターズのAnnual Reportを基に委託会社が作成したものです。

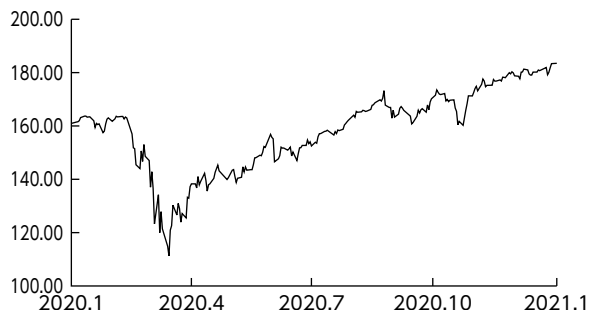
（注2）1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

（注3）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

基準価額の推移（2020年1月11日～2021年1月12日）



(注) 当該ファンドの当初組入れ時（2016年8月1日）を100として指数化しております。

○上位10銘柄

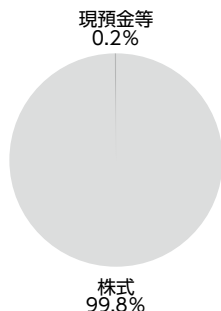
銘柄名	国	業種名	比率
1 アップル	米国	情報技術	6.9%
2 マイクロソフト	米国	情報技術	5.6%
3 ベライゾン・コミュニケーションズ	米国	コミュニケーション・サービス	5.3%
4 プロクター・アンド・ギャンブル	米国	生活必需品	4.5%
5 メルク	米国	ヘルスケア	3.1%
6 ペプシコ	米国	生活必需品	2.9%
7 アルトリア・グループ	米国	生活必需品	2.6%
8 ユナイテッド・ヘルス・グループ	米国	ヘルスケア	2.4%
9 コムキャスト	米国	コミュニケーション・サービス	2.2%
10 プリストル・マイヤーズ スクイブ	米国	ヘルスケア	2.2%
組入銘柄数		265銘柄	

(注) 銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

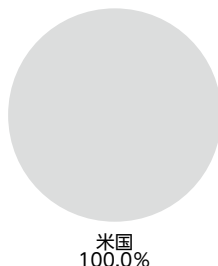
○1万口当たりの費用明細

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンドのSemi-Annual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

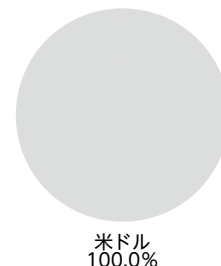
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年9月30日現在のものです。本データは、ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンドのSemi-Annual Reportを基に委託会社が作成したものです。

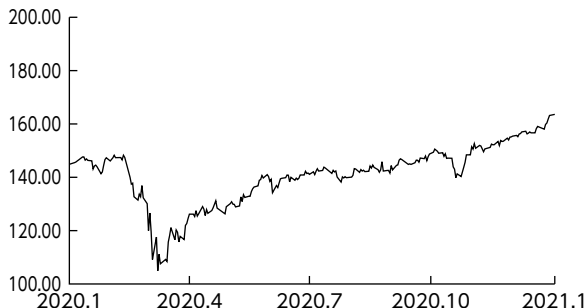
(注2) 1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

(注3) 資産別配分の比率は指定投資信託証券の資産総額、上位10銘柄、国別・通貨別配分の比率は、保有株式の時価総額に対する割合です。

組入上位ファンド（銘柄）の概要

ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

基準価額の推移（2020年1月11日～2021年1月12日）



（注）当該ファンドの当初組入れ時（2016年8月1日）を100として指数化しております。

○上位10銘柄

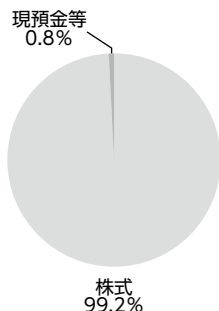
銘柄名	国・地域	業種名	比率
1 ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	4.5%
2 ユニリーバ	英国	生活必需品	4.2%
3 インドゥストリア・デ・ティセニョ・テクスティル	スペイン	一般消費財・サービス	4.0%
4 リオ・ティント	英国	素材	3.7%
5 S A P	ドイツ	情報技術	3.6%
6 プリティッシュ・アメリカン・タバコ	英国	生活必需品	3.6%
7 東京エレクトロン	日本	情報技術	3.2%
8 A S M Lホールディング	オランダ	情報技術	2.7%
9 ケリング	フランス	一般消費財・サービス	2.6%
10 任天堂	日本	コミュニケーション・サービス	2.5%
組入銘柄数		227銘柄	

（注）銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

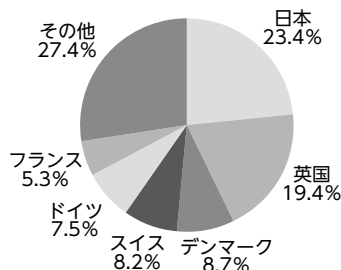
○1万口当たりの費用明細

ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンドのSemi-Annual Reportには、1万口当たりの費用の明細が開示がされていないため、記載できません。

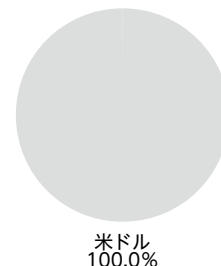
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2020年9月30日現在のものです。本データは、ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンドのSemi-Annual Reportを基に委託会社が作成したものです。

（注2）1万口当たりの費用の明細は組入れファンドの直近の決算期のもので、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

（注3）資産別配分の比率は指定投資信託証券の資産総額、上位10銘柄、国別・通貨別配分の比率は、保有株式の時価総額に対する割合です。

<参考情報>

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2020年12月30日現在のものです。本データは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズおよびアリアンツ・グローバル・インベスターズからの情報を基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー グローバル・ショートターム・インベストメント・グレード・フィクスト・インカム・ファンド

○ポートフォリオ概況

最終利回り	0.8%
平均残存期間	2.1年
平均デュレーション	2.1年
平均格付	A-
銘柄数	333銘柄

(注1) 最終利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注2) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い（短い）ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく（小さく）なります。

(注3) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、指定投資信託証券に係る信用格付ではありません。

○種別構成比

債券種別	比率
国債/政府機関債	16.9%
社債	79.8%
その他	3.3%
合計	100.0%

(注) 比率は、保有債券の時価総額に対する割合です。

○格付構成比

格付	比率
AAA	12.9%
AA	10.9%
A	35.5%
BBB	40.2%
その他	0.5%
合計	100.0%

(注1) 格付構成は、該当投資顧問会社が定義した分類によるものです。

(注2) 比率は、保有債券の時価総額に対する割合です。

○国別構成比

国	比率
米国	47.8%
国際機関	8.6%
英国	8.5%
日本	5.9%
ドイツ	5.4%
カナダ	4.7%
その他	19.0%
合計	100.0%

(注1) 国は組入れ銘柄の発行体の所在国を示しています。

(注2) 比率は、保有債券の時価総額に対する割合です。

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド（為替ヘッジあり）

○ポートフォリオ概況

最終利回り	5.1%
平均残存期間	3.7年
平均デュレーション	2.9年
平均格付	BB-
銘柄数	111銘柄

(注1) 最終利回りは、実際の投資家利回りとは異なります。

(注2) デュレーションとは、金利の変化に対する債券の価格感応度を示す指標で、単位は「年」で表示されます。この値が長い（短い）ほど、金利の変化に対する債券価格の変動率が大きく（小さく）なります。

(注3) 平均格付とは、基準日時点での保有債券に係る信用格付を加重平均したものであり、指定投資信託証券に係る信用格付ではありません。

(注4) 上記数値は、現預金を含めて算出したものです。

○資産構成比

資産	比率
債券	85.0%
バンク・ローン	9.9%
現預金等	5.1%
合計	100.0%

(注) 比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。

○格付構成比

格付	比率
BBB以上	5.4%
BB	36.8%
B	39.9%
CCC以下	3.5%
無格付	9.4%
現預金等	5.1%
合計	100.0%

(注1) 格付構成は、該当投資顧問会社が定義した分類によるものです。

(注2) 比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。

○国別構成比

国	比率
米国	83.5%
英国	5.0%
ケイマン諸島	1.9%
その他	4.5%
現預金等	5.1%
合計	100.0%

(注1) 国は組入れ銘柄の発行体の所在国を示しています。

(注2) 比率は、指定投資信託証券の資産総額に対する割合です。

<参考情報>

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2020年12月30日現在のものです。本データは、ウィズダムツリー・アセット・マネジメント・インクからの情報を基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の比率は、保有株式の時価総額に対する比率です。また、各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

ウィズダムツリー・U.S.クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

○組入上位5銘柄

(組入銘柄数：300銘柄)

銘柄名	国	業種	比率
アップル	米国	情報技術	5.0%
マイクロソフト	米国	情報技術	4.8%
ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	ヘルスケア	4.7%
ベライゾン・コミュニケーションズ	米国	コミュニケーション・サービス	4.6%
プロクター・アンド・ギャンブル	米国	生活必需品	3.7%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

○業種別構成比

業種	比率
情報技術	25.7%
ヘルスケア	19.7%
生活必需品	17.2%
資本財・サービス	15.7%
コミュニケーション・サービス	7.0%
その他	14.8%
合計	100.0%

○国別構成比

国	比率
米国	100.0%

(注) 国は組入れ銘柄の発行体のリスク所在国を示しています。

ウィズダムツリー・インターナショナル・ヘッジド・クオリティ・ディビデンド・グロース・ファンド

○組入上位5銘柄

(組入銘柄数：246銘柄)

銘柄名	国	業種	比率
リオ・ティント	英国	素材	6.5%
BHPグループ	オーストラリア	素材	5.7%
LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	4.5%
ソフトバンク	日本	コミュニケーション・サービス	4.1%
ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	4.0%

※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

○業種別構成比

業種	比率
素材	21.4%
ヘルスケア	18.5%
資本財・サービス	13.1%
情報技術	12.8%
一般消費財・サービス	11.2%
その他	22.9%
合計	100.0%

○国別構成比

国	比率
英国	25.8%
日本	19.7%
オーストラリア	11.6%
スイス	10.2%
ドイツ	6.2%
その他	26.5%
合計	100.0%

(注) 国は組入れ銘柄の発行体のリスク所在国を示しています。